

社会福祉法人鶴心会

トータス



特別養護老人ホームトータス
トータスデイサービスセンター
トータス訪問介護ステーション
TEL 0436-50-6161

デイサービスセンター鶴舞温泉げんき館
TEL 0436-88-2655

トータス居宅介護支援事業所
TEL 0436-50-6511

市原市地域包括支援センター・トータス
TEL 0436-50-6262

介護老人保健施設クレイン
クレイン通所リハビリテーション
クレイン訪問リハビリテーション
鶴舞訪問看護ステーション
TEL 0436-88-4500

Web サイトもご覧ください
http://www.otg.or.jp/



トータス家族会

クリスマスプレゼント

12月24日のクリスマススイケ、恒例のトータス家族会からのクリスマスプレゼントをご利用者の皆様に贈られました。施設長と職員がサンタとトナカイに扮し、クリスマスソングを流しながらプレゼントを載せたソリを引いて全館を回りました。プレゼントは個人用として写真を入れるミニアルバム、フロア用として各種バスルと塗り絵を選ばせていただきました。各フロアでは歓声が沸き、たかさんの「ありがとうー」のお言葉を頂戴し、楽しいひと時を過ごしていただきましたように思います。



続きさせていきたいと考えております。皆様のご理解とご協力をくぐれども宜しくお願い致します。

特養トータス家族会事務局
事務局長 林 公彦

年末餅つき大会

12月26日に利用者様に季節を感じて頂くことを目標にトータス、げんき館で毎年恒例の杵と臼を使い餅つき大会を行いました。

今回、行事担当にあたり餅つきや鏡餅に由来、意味について調べてみました。餅つきには、稲作信仰に根ざし、神様への感謝を掲げることができました。



謝と農作祈願、生命力・力の象徴としてお祝い事や特別な日に食へるようになった習慣で弥生時代に日本に伝来したそうです。また、鏡餅には、新年に家を訪れる年神様が宿る依り代として神聖な鏡に見立てた丸い餅をお供えする風習で、平安時代から存在しているそうです。

最初は、利用者様にアドバイザーを頂きながら職員が餅を捏ねて搗き、その後「よいしょよいしょ」の掛け声で利用者様も力強くつかれ、あつという間に餅を搗くことができました。

またこの日は丁度、入所者様の回診の為、永野病院の院長三井先生が来所してくださいましたので、ひとつきふたつきと餅つきに参加していただきました。三井先生、ありがとうございます。

ふる里は近くにありて

詩人、小説家の室生犀星(1898-1963)の詩集「小景異情」の有名な一節「ふる里とは遠きにありて思うものとして悲しくうたうもの」があります。

室生犀星研究者の一人葉山修平さん(1930-2016)は市原高校出身で、直木賞候補になりました。高校の先輩である葉山さんとは高橋甲子男さんを通して知り合い、銀座を呑み歩き親しくさせていただきました。

1996年に自費出版した「ふる里は近くにありて」(近代文芸社)はこんなご縁と、まちづくりに関係しています。

本紙1月号で、ふる里づくりは長期にわたるまちづくりと述べました。そしてふる里は魂が帰れるところとも述べました。

私の人生の場は、大半が市原市です。東京、北海道で4年間、千葉市で3年半程過ごしましたが海亀のように市原市に戻って生きています。

芸術のパワー

幼い頃、病弱で精神的にも不安定だった私に絵をすすめてくれたのが父親です。その面ではやや早熟だったのでしょうか。いろいろな公募展で受賞しました。14才から30才まで、旺盛な制作意欲で1500点余りの作品が生まれました。

1970年、大阪万博の象徴になった岡本太郎の「太陽の塔」のように絵画は額縁を飛び出して、身体や環境を表現する大規模化と大衆性を強めました。私は自己に沈潜する制作態度で細々と続けていました。私にとって制作とは考え方、生き方と密接で心の在り処を探求しています。今でも一貫しているものです。

30才で結婚し、子供ができると商売の道に進み、制作は止めました。教職を離れて実社会の中で生きて34年、何か満たされないうちに素敵な出逢いがありました。1冊の書物、田村明著「まちづくりの発想」です。生き方と芸術の一致を見たのです。以来、まちづくり意識は熱を帯び、1986年11月環境総合芸術「風景を巡るパフォーマンス」サテイ列車で行こう」の誕生になります。

小湊鐵道はふる里の音

ガタンゴトン：鉄道沿線に響くこの音を、大正の時代から何十万、何百万の人々が聞いたことでしょうか。高下駄のランコロンは聞こえない

くなりましたが、ガタンゴトンは今日も生きています。

ふる里の音に、エリック・サテイの曲をのせました。列車が五井から養老溪谷まで走りました。グランドピアノを乗せた1号車から4号車まで、車輪内外の拡声器から、田園と中山間地に生のサテイが流れました。

サテイ列車からの派生

芸術家と市民の協働作業で市原市のまちづくりがはじまったのです。市原市都市計画課にはじめて「まちづくり支援係」が出来ました。サッカージェフ市原の誕生にも貢献しました。この流れから高滝ダム湖に「水と彫刻の丘」(現在湖畔美術館)が生まれ、市内でまちづくりの活動を続けている22の個体が一つになって「市原ふる里協議会」が設立されました。

市原市人口の2/3は、コンビニート誕生によって住まわれた方が多数です。ふる里協議会のメンバーの多くがこの方々です。老後を考えている方もいて、将来への不安が感じられました。市原市民になりきれいなかったのかもかもしれません。ジェフの誘致もここに関係しています。

1990年10月、メンバーで集めた資料をもとにして「首都圏のふるさと」構想を、「The まちづくりView」(1990 - VOL10 第一法想)に発表、市の将来展望を描きました。

自然と人工が調和する所であり、ゴルフ場と共に、子どもの夢を育める高滝ダム湖の開発です。圏央道鶴舞バスターミナルの開

クリスマス会

1月号で、クリスマス会の前半を紹介しましたので、今月は後半戦をお送りします。

鶴舞温泉げんき館

11月に落語ボランティアに来てくれた方が、約束通り、クリスマス会にもお越しくださいました。前回と違う曜日に来ていただいたので、ほんとの方が、げんき館でご覧になるのは初めてだったのではないのでしょうか。テレビの中でしか見たことのない(であろう)光景が目の前で繰り広げられ、皆さん貴重な体験ができたと思います。「日向亭わさび」様、楽しい時間をありがとうございました。

そして、待ちに待ったビンゴ大会!配られたカードにとらめっこしながら、引かれた数字を聞き逃すまいと集中しています。しばらくして、あちこちから聞こえてくる「リーチ!」の声に、「私まだ全然開いてないのに!」と焦る方もいましたが、そういう場合、後から巻き返すことが多いですよ!ビンゴになると、



お好きな景品を選んでいました。これからも皆様に喜んでいただけるように頑張ります。それではまた!

介護職 清水 重光



げんき館にパン屋さんさんが来るようになって4カ月余り。実は以前も来てくれていたのですが、コロナ禍で中止となっていました。念願の再開ですが、曜日が変わり、水曜日から火曜日になりました。

皆様楽しみにしていたようで行列ができる程でした。目をキラキラさせてじっくり吟味し「このパン何が入ってるの?」「どれも美味しそう」といった声が聞かれます。中には予約して食パンを購入する方もいて、大盛況です。嬉しそうな顔を見ると、私たちも嬉しくなります。パンを買う楽しみが、げんき館を利用する目的のひとつになつてくれるといいなと思います。ですが、食べきれない程たくさん買いきれないようにお願いします!(笑)

介護職 鈴木 恵美

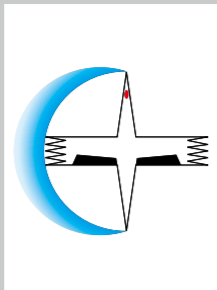
2026.2.1 第316号

発行 広報委員会
委員長 伊藤
副委員長 比留間
三好 (佐)、町田
鹿野、齊藤 (直)、
今溝
市原市石川 1078
TEL:0436-88-4500

介護老人保健施設

クレイン

社会福祉法人 鶴心会



通所リハビリテーション
訪問リハビリテーション
訪問看護ステーション



ふる里の新雪に月光

2026年1月富士台で

ガタンゴトン：鉄道沿線に響くこの音を、大正の時代から何十万、何百万の人々が聞いたことでしょうか。高下駄のランコロンは聞こえない

美と健康の回廊

1999年、高滝から鶴舞へ大きく舵を切り協議会のメンバー、教え子、友人たちの力によって介護老人保健施設クレインが鶴舞にできました。7年後、特別養護老人ホームトータスができ、間もなくデイサービスセンター鶴舞温泉げんき館・のんき館がオープンしました。隣接する千葉県循環器病センターと並んで、鶴舞は、医療、介護、福祉施設が集積するところになりました。

げんき館に隣接して、市原市地域包括支援センターと居宅介護支援事業所があり、街中に住民が集う軽食と喫茶のホーブラザがあります。ホーブラザと地域包括支援センターには、将来に向けて公衆トイレを設けてあります。

安心と生き甲斐はまちづくりと施設の理念です。この具現化の一つが「美と健康の回廊」。以下回廊について簡略に述べます。

鶴舞駅から社会福祉法人老健クレインと特養トータスへ向かいます。急な坂道を上り切ると間もなくトイレと水があります。体調に変化があったらトイレのそばの支援センターへどうぞ。多様な相談に応じています。

もう一方、市原市副都心牛久駅から「米沢の森」へのコースがあります。健脚の人は内田の「内田未来楽校」を訪れると、ふる里を次代に伝えてゆこうとする熱い思いに出逢います。更に足を伸ばして笠森観音経由で鶴舞に至ることが出来ます。

石庭と眺望の西山庭園で一休みされたらあいおい坂を下って「市原ぞうの国」に向います。そこから10分程下って行くと前方に湖の光が見え、十字路を左折するとすぐ右側にボート乗り場、橋を渡るど湖畔美術館です。企画展を観たら湖に向かって、水車展望塔や湖上の造形を楽しんで下さい。

ここからは10分程で橋を渡り終えると県社高瀬神社があり、神社裏側の山の麓が高滝駅です。現在西山庭園にタイガー立石の絵本原画常設館を計画中です。これが実現できれば「美と健康の回廊」が望ましい形で完成します。関心のある方はホーブラザ(0436(88)4001)までご連絡下さい。

この回廊は奥の養老溪谷まで伸びて行きます。35年前の思いー子供たちの楽しみと学びの空間をこれからも求め続けて行きます。

鶴心会理事長 三好 敏弘



子供たちから、元気と笑顔をいただきました

年の初めに笑顔満開 ～クレイン・トータスのお正月～

新型コロナウイルスの影響で長らく見合わせていた「御神楽」が、この度7年ぶりに開催されました。五井上宿祭囃子保存会の皆様をお招きし、会場はおかめやひょっとこの舞、そして威勢の良いお囃子の音色で、一気に正月ムードに包まれました。一生懸命に舞い踊る子供たちの姿に、ご利用者の皆様は自然と手拍子や笑顔が溢れる温かな交流の場となりました。

また今回は保存会の皆様のご厚意により、会場に来られなかった方のお部屋も獅子舞がお一人ずつ丁寧に訪問していただきました。予定時間を過ぎてなお、最後の一人まで無病息災を祈願して下さった細やかなお心遣いに、職員一同深く感謝しております。皆様の温かな真心に触れ、最高の一年の幕開けとなりました。心より感謝申し上げます。



上宿祭囃子保存会の皆様、利用者様にあられる笑顔をありがとうございます



ひょっとこ、獅子舞
おひねりどうぞ

年末年始はイベント盛りだくさん



菊地先生、正月飾りつけ



三好理事長、お屠蘇の振舞



高滝神社神主様、健康祈願

